校長室だより 2021 年度4月号

Be creative!





255名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

―「コロナ禍を生き抜いた君たちへ」校長式辞(抜粋) 校長 山口喜久枝

振り返れば、皆さんの中学3年生は、思いもかけなかった全国一斉学校休業からスタートしました。 人生の最初の大きな選択を迫られるあの時期における学校休業は、皆さんに大きな不安や迷いを与えた ことでしょう。いつかやってくるだろうと思っていた「予測不能の時代」は思わぬ形で突然私たちのも とにやってきました。

「学びを止めない」一これは、私たちのみならず、日本中の、そして教育に携わる世界中の教師たちの合言葉となりました。私たちがあの時に依拠したものは現代の科学の最先端に位置する「ICT」の技術でした。その技術をもってすれば、この苦難を乗り越え、生徒たちのもとに学びを発信することができる、この技術に支えられて生徒とともに歩むことができる、そう思っていました。

しかしながら、休校が明け、生徒たちの顔を見、元気に笑うその声を聞いたとき、私の考えは変わりました。最も大事なところでこの取り組みを支えていたものは何だったのか、それは、生徒たちの身体と心の健康だったのだと気がついたのです。これは古来より人間が生活の根底で大事にしてきたものです。現代の最先端の技術の活用とともに、生徒たちの身体と心が健康であったからこそ、この取り組みは成り立っていたのだと改めて認識を深めることができました。

君たちもまた、そうした中において、自らを健康に保ち、将来の自分の進む道を考え、きっぱりと決断、選択をして、本日、私たちの学校の生徒になりました。自ら苦難に立ち向かい、生き抜く力が内在



している君たちであれば、もう何も恐れることはない、これからやって くる未来を大いに楽しみにしよう、私はそう思います。

「今日が大事なんだ。明日じゃない。」これはノーベル文学賞を受賞 したボブ・ディランの言葉です。皆さんの送る日々が貴重な一日一日の 積み重ねとなるよう、精一杯サポートをすることをお約束します。とも に頑張りましょう。

壁を越えていく一新入生代表の言葉(抜粋) 代表 樋口柚那(武豊町立武豊中学校)

今日から私たちは高校生になりました。真新しい制服に袖を通し、これからの高校生活への期待や希望に胸を大きく膨らませています。これからの3年間を過ごす中で勉強はもちろん部活動や学校行事にも積極的に取り組み、充実した生活を送りたいと思います。

また、この学校生活を通して周りの人のことも考えながら、自分の意志をしっかりと持って責任ある行動を取っていきたいと思います。新しい経験をしていくにつれ、壁にぶつかることもあるかと思いますが、仲間と協力して精一杯乗り越えていきたいです。先輩の皆さん、先生方、暖かく、時に厳しくご指導いただきますよう、よろしくお願いいたします。





本校の姉妹校、フィリピンの Silay Insutitute School Director であられる Zamora 先生から新入生の皆さんへのメッセージです。Silay Institute と本校は 姉妹校提携を結んで5年目を迎えます。

To all the Government and School Officials present today, parents and stakeholders, my dear students, good day. Allow

me to extend my greetings to all of you for this year's spring opening.

The year 2020 which has just passed us some 3 months back has been a little bit exhausting for all of us. Suddenly, our world became different… the education landscape has changed. From the school, our main study center became our homes. Google, zoom, and other apps and platforms became our classrooms. We became digital citizens. Nevertheless, education continues…

Our pursuit for knowledge does not stop just because schools closed doors due to the pandemic. Instead, different modalities not familiar to us before, served as our means of reaching out to each other. Studying is not more on social interaction but on self-discipline and self-reliance. Parents and guardians became more active in the education of children. Something that is both satisfying and hard on both the side of school and home. Despite all these things though, we are still here! Reaching out for that laurel that we have always wanted to have, which brought you here today. And for that, my congratulations. The link that binds Nihon Fukushi University Affiliated High School and Sllay Institute Incorporated remains strong despite these challenges. Travel restrictions may have hindered our physical closeness this past year, but our spirits are joined in the spirit of student welfare and education. Our engagement in the field of research continues, and our quest for cultural partnership is still on-going. Through our digital community, we reach out to each other.

Today, our smiles may hide behind the masks but our eyes show the gratefulness that we have for the sisterhood and partnership that we have forged with each other. The COVID conditions prevail. We still cannot visit each



other. But rest assured, Silay Institute is just here waiting for the condition to stabilize so we could welcome you again with open arms. Whatever service we can give, if you need us, just make use of the digital platforms and social media, and we would always be here, happy to be of service to you.

Again, my congratulations for your Spring opening!

今月の言葉

「自分が勝てるのはずっと先のことだと思っていた。すごくつらくてしんどくても、努力は 必ず報われるんだなと思った。」一競泳 池江璃花子 白血病乗り越え、東京五輪代表に!